

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

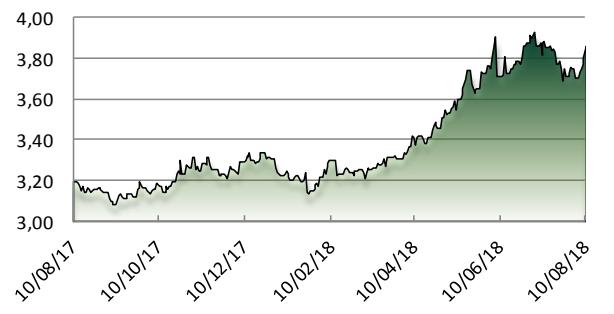
先週末のドルレアルスポット相場は、トルコショックに起因する新興国通貨全般のリスクセンチメント悪化に巻き込まれる形で取引開始直後からレアル安が加速。一時3.87台前半までレアル安が進行したが、トルコを巡るグローバルなリスク回避の動きは本日も顕著となっており、一層のレアル安が想定される(次の節目の3.90を上回った場合、ブラジル中銀が新規の通貨スワップ入札を再開するかどうかにも注目が集まる)。トルコリラは対ドルで4営業日続落、かつ、最安値を再び更新。トルコのエルドアン大統領は米国との対決姿勢を崩しておらず(11日に開催された集会において、米国人牧師がトルコで拘束されていることを受けて米国が制裁を決定したことに言及。「脅してトルコ国民を大人しくさせることはできない」と発言)、メキシコペソや南アフリカランドにも売りが波及(ランドは2008年以来の大幅下落を記録)。アジア通貨も軒並み下落しており、インドルピーとインドネシアルピアが特に反応を示している。トルコ中銀はその後、市中銀行への流動性供給策を強化するなどの金融安定化措置を公表したものの、事態が早期に収束する可能性は低い。レアルは大統領選が本格化する中で新興国通貨の混乱といった外部要因がさらなる重石となり、4レアル到達が再度射程圏内に入る展開になると予想。今週15日は各党の大統領候補者登録の正式期限であるが、マーケットの関心は引き続きLula元大統領の出馬について選挙高等裁判所がいつ最終判断を下すかに集まっている。

マーケットデータ

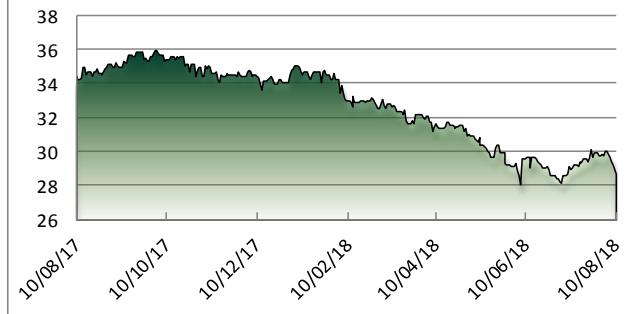
Indicator		Unit	8月9日	8月10日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対 ドル	BRL	3,8005	3,8618	1,61%	1,23%	3,1210	3,9672
	対 円	JPY	29,23	28,70	-1,81%	-1,40%	35,13	27,63
	対 ユーロ	BRL	4,3821	4,4088	0,61%	-1,54%	3,8531	4,6831
円	対 ドル	JPY	111,08	110,83	-0,23%	-0,15%	104,56	113,39
	対 ユーロ	JPY	128,05	126,51	-1,20%	-2,95%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		78,768	76,514	-2,86%	2,21%	88,318	69,069
CDS Brazil 5yrs	bps		225,50	237,00	5,10%	-2,64%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		11,57	11,85	2,42%	5,71%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		6,66	6,77	1,58%	-0,44%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,3380	2,3193	-0,80%	-0,78%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		192,43	191,69	-0,38%	-3,33%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。